

## ツシマウラボシシジミの概要

### 1. 種名（学名）

シジミチョウ科 ツシマウラボシシジミ  
(*Pithecopa fulgens tsushimanus*)

### 2. 環境省レッドリストランク

絶滅危惧 I A類 (CR)

### 3. 種の特徴

成虫は小型（開張23～26 mm）で、翅形は細長い。  
♀の翅表は一律な黒褐色。♂の翅表は外縁のやや  
幅広い黒帯を残して強く青紫色に輝く。裏面は♂♀  
同様に、後翅前角に近い位置に大形の黒色円紋が白色  
の地色にくっきりと目立つ。亜外縁に淡黄褐色の細い条線が走る。

沢沿いのスギやヒノキの植林地や広葉樹林の林床、沢沿いの林道沿い、シイタケの栽培地等が良好な生息地となっている。



### 4. 分布域

長崎県対馬市

### 5. 存続を脅かす要因

シカの採食による食草の減少、自然遷移（スギ植林地の鬱閉）、採取

### 6. その他

- ・「ツシマウラボシシジミ繁殖地」として対馬市の天然記念物に指定されている。
- ・長崎県未来につながる環境を守り育てる条例に種指定されている。
- ・生息地は壱岐対馬国定公園に含まれる。
- ・環境省が生息域外推進モデル事業を実施中。